

## 議事 2

# 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画について 関係資料

資料 2 - 1 概要説明書

資料 2 - 2 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画(中藤・中沢地区)(案)

資料 2 - 3 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画(南高麗地区)(案)

資料 2 - 4 今後のスケジュール

## 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画 概要説明書

### 1 経緯

国際興業バス中藤・中沢線及び間野黒指線が維持困難になったことを受けて、市では当該路線の代替となるサービスを検討してきた。検討に際して、国の「地域旅客運送サービス継続事業」を活用し、その枠組みで路線再編を進めている。今回の協議会においては、令和5年9月1日からの本格運行開始に向けて策定する「地域旅客運送サービス継続実施計画」について審議する。

### 2 地域旅客運送サービス継続事業の概要

- (1) バス路線等が廃止される場合、代替サービスを円滑に確保するための制度
- (2) サービス継続のための「実施方針」を策定、公募により新たなサービス提供事業者を募集
- (3) 市で「地域旅客運送サービス継続実施計画」を作成、国交省の認定で特例措置あり

### 3 これまでの経緯（地域旅客運送サービス継続事業関連）

時 期	内 容
令和3年10月20日	第15回飯能市地域公共交通対策協議会 ▶国際興業バス中藤・中沢線、間野黒指線について維持困難である表明
令和3年11月～	再編案の検討開始 ▶地区検討会（原市場地区・南高麗地区） ▶バス利用者アンケート調査 ▶沿線地区への検討状況の周知・意見募集
令和3年12月	第16回飯能市地域公共交通対策協議会（書面） ▶飯能市地域公共交通計画を策定、計画中に「地域旅客運送サービス継続事業の活用」について明記
令和4年 3月 1日	第17回飯能市地域公共交通対策協議会 ▶運行事業者公募のための「実施方針」を策定
令和4年 3月 7日 ～3月23日	運行事業者の公募（原市場・南高麗） ▶「実施方針」に基づき実施（応募1社）
令和4年 4月～	運行事業者が国際興業(株)に決定、実証運行開始準備
令和4年 5月30日	第18回飯能市地域公共交通対策協議会 ▶実証運行案を審議、承認
令和4年 9月 1日	実証運行開始（～令和5年8月末日まで）
令和5年 3月29日	第23回飯能市地域公共交通対策協議会 ▶「飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画」の策定審議

### 4 制度活用のメリット

- (1) 法律上の特例措置
- (2) 運行費等に対する予算等の支援

# 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画（案）

## （中藤・中沢地区）

### 1 実施区域

飯能市

仲町、柳町、東町、八幡町、本町、山手町、大字飯能、大字永田、大字久須美、大字小瀬戸、大字上赤工、大字下赤工、大字原市場、大字中藤下郷、大字中藤中郷、大字中藤上郷、大字南

### 2 事業の内容・実施主体

#### （1）公募の結果

実施概要	中藤・中沢地区乗合交通運行事業者募集要項に基づき公募を実施 (公募期間 令和4年3月7日～令和4年3月23日)
応募事業者数	1社
選定事業者	国際興業株式会社

#### （2）事業内容

系統	飯能駅便 (飯 04)	原市場地区行政センタ 一便 (原市場 01)	新寺便 (原市場 02)				
運行事業者	国際興業株式会社						
運行の種別	一般乗合旅客自動車運送事業 (路線定期運行)						
運行期間	令和5年9月1日 ~ 令和9年3月31日						
運行路線	※別紙路線図のとおり						
運行日	毎日	週3日		毎日			
運行便数	単位：便						
	系統	平日		土曜		休日	
		往	復	往	復	往	復
	飯能駅便 (飯 04)	2	2	2	1	2	1
	原市場地区行政センタ 一便 (原市場 01)	3		0		0	
	週3日運行						
新寺便 (原市場 02)	4	4	3	3	3	3	
車両	大型車両	ワゴン車両		ワゴン車両			
運賃体系	対キロ区間制運賃 ※別紙運賃表のとおり	一律 300 円 (小児 150 円) ※中沢-新寺間 100 円		一律 100 円 (小児 50 円)			

### 3 地方公共団体による支援の内容

市が運行経費から運行収入及び国庫補助金を差し引いた額を予算の範囲内で補助する。  
補助方法は、協議により決定する。

### 4 実施予定期間

令和5年9月1日 ～ 令和9年3月31日

### 5 事業実施に必要な資金の額・調達方法

#### (1) 実施年度 令和5年度（※R5.9.1～R6.3.31 7か月分）

項目	総事業費		調達方法	
	18,186 千円	内訳	調達主体	内容
全系統		2,728 千円	国際興業(株)	運行収入等
		13,972 千円	国際興業(株)	飯能市地域支線交通事業運行経費補助金
	1,486 千円	飯能市地域公共交通対策協議会	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金	

※総事業費及びその内訳については見込みであり、変更の可能性あり。

#### (2) 実施年度 令和6年度～令和8年度（1年分）

項目	総事業費		調達方法	
	31,176 千円	内訳	調達主体	内容
全系統		4,676 千円	国際興業(株)	運行収入等
		20,298 千円	国際興業(株)	飯能市地域支線交通事業運行経費補助金
	6,202 千円	飯能市地域公共交通対策協議会	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金	

※総事業費及びその内訳については見込みであり、変更の可能性あり。

## 6 事業の効果

目標指標	事業の効果	関連する第2次飯能市地域公共交通計画の目標指標
・1便あたりの利用者数 3人以上	持続可能な運行につながり、地域住民の移動手段が確保される。	<b>指標 2-1</b> 将来（10年後）の外出に不安を感じる人の割合 <b>指標 2-2</b> 路線バスを年間1回以上利用した割合 <b>指標 3-2</b> 公共交通利便地域の人口割合

## 7 地域公共交通計画に継続事業に関連して実施される事業が定められている場合には、当該事業に関する事項

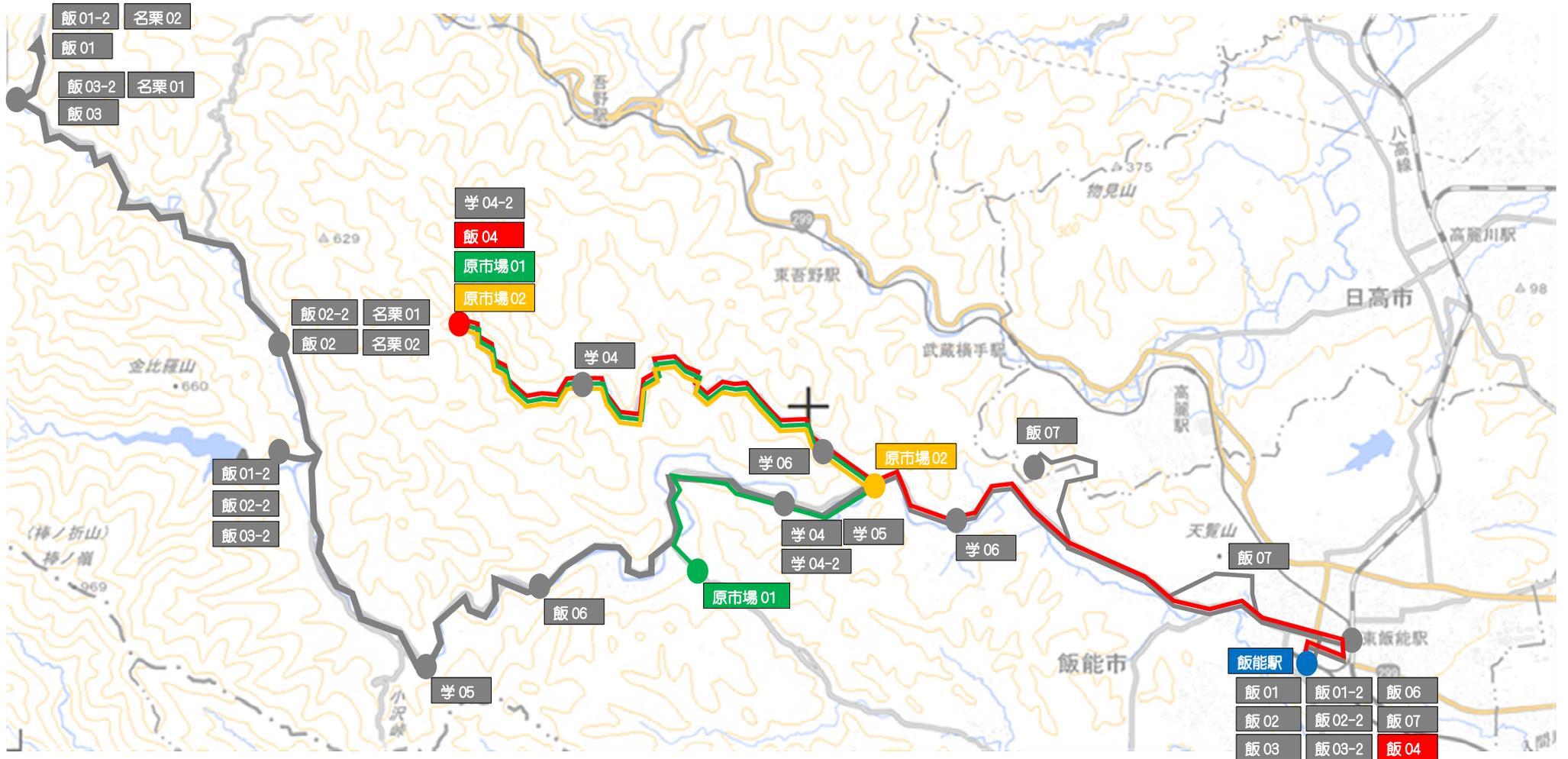
第2次飯能市地域公共交通計画（令和5年3月策定）

- ・基本目標1 施策3 市主体のモビリティ・マネジメント（56頁）
- ・基本目標2 施策1 利用しやすい待合環境の整備と情報発信（59頁）
- ・基本目標2 施策2 乗継環境と道路環境の整備（60頁）

## 8 その他継続事業の運営に重大な関係を有する事項がある場合には、その事項

地域住民の需要、安全・安定運行の必要性等により、運行経路、時刻表、運賃等の運行内容について変更を検討する。

# 路線図



運 行 系 統 名	(イ) 飯 0 4 系統 飯能駅 ~ 中 沢 線																																		
	(ロ) _____ 系統 _____ 線																																		
(ハ) _____ 系統 _____ 線																																			
運 賃 区 界 及 び 停 留 所 名 等	対キロ																																		
	中 沢																																		
															戸 丸		200	200																	
	1.2																																		
															中 藤		200	200	200	200															
	1.0      2.2																																		
															下 郷		200	200	220	220	270	270													
	2.5      3.5      4.7																																		
															野 口		200	200	270	270	300	300	340	340											
	2.2      4.7      5.7      6.9																																		
															小瀬戸		200	200	210	210	320	320	340	340	380	380									
	1.2      3.4      5.9      6.9      8.0																																		
															坂の上		200	200	200	200	270	270	360	360	380	380	420	420							
	1.4      2.6      4.8      7.3      8.3      9.4																																		
															永田大杉		200	200	210	210	260	260	340	340	400	400	440	440	460	460					
	1.9      3.3      4.4      6.6      9.1      10.1      11.3																																		
														岩根橋		200	200	210	210	270	270	300	300	380	380	440	440	460	460	500	500				
1.3      3.2      4.6      5.7      7.9      10.4      11.4      12.6																																			
														市民会館 ・博物館		200	200	200	200	210	210	270	270	300	300	380	380	440	440	460	460	500	500		
0.3      *1.3      *3.2      *4.6      *5.7      *7.9      *10.4      *11.4      *12.6																																			
														飯能河原		200	200	200	200	220	220	280	280	320	320	360	360	420	420	500	500	540	540	550	550
0.7      0.7      2.0      3.9      5.3      6.4      8.6      11.1      12.1      13.3																																			
現金 IC		飯能駅		200	200	200	200	200	200	230	230	300	300	340	340	380	380	440	440	500	500	550	550	550	550										
キロ				1.9	2.6	2.6	3.9	5.7	7.1	8.3	10.5	13.0	14.0	15.1																					

# 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画（案）

## （南高麗地区）

### 1 実施区域

飯能市

仲町、柳町、東町、八幡町、本町、山手町、南町、大字飯能、大字大河原、大字矢嵐、美杉台一丁目、美杉台二丁目、美杉台三丁目、美杉台六丁目、美杉台七丁目、茜台一丁目、茜台二丁目、大字岩淵、大字下畑、大字上畑、大字下直竹、大字上直竹下分、大字上直竹上分

### 2 事業の内容・実施主体

#### （1）公募の結果

実施概要	南高麗地区乗合交通運行事業者募集要項に基づき公募を実施 (公募期間 令和4年3月7日～令和4年3月23日)
応募事業者数	1社
選定事業者	国際興業株式会社

#### （2）事業内容

系統	小学校便（南高麗01）	南高麗地区行政センター便 （南高麗02）					
運行事業者	国際興業株式会社						
運行の種別	一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）						
運行期間	令和5年9月1日 ～ 令和9年3月31日						
運行路線	※別紙路線図のとおり						
運行日	週5日			週3日			
運行便数	単位：便						
	系統	月・水・金		火・木		土休日	
		往	復	往	復	往	復
	小学校便	4	3	4	3	0	0
南高麗地区行政センター便	2	2	0	0	0	0	
車両	ワゴン車両						
運賃体系	一律300円（小児150円）						

### 3 地方公共団体による支援の内容

市が運行経費から運行収入及び国庫補助金を差し引いた額を予算の範囲内で補助する。  
補助方法は、協議により決定する。

### 4 実施予定期間

令和5年9月1日 ～ 令和9年3月31日

### 5 事業実施に必要な資金の額・調達方法

#### (1) 実施年度 令和5年度（※R5.9.1～R6.3.31 7か月分）

項目	総事業費		調達方法	
		内訳	調達主体	内容
全系統	7,887千円	789千円	国際興業(株)	運行収入等
		6,357千円	国際興業(株)	飯能市地域支線交通事業運行経費補助金
		741千円	飯能市地域公共交通対策協議会	地域内フィーダーシステム確保維持費国庫補助金

※総事業費及びその内訳については見込みであり、変更の可能性あり。

#### (2) 実施年度 令和6年度～令和8年度（1年分）

項目	総事業費		調達方法	
		内訳	調達主体	内容
全系統	13,520千円	1,352千円	国際興業(株)	運行収入等
		9,289千円	国際興業(株)	飯能市地域支線交通事業運行経費補助金
		2,879千円	飯能市地域公共交通対策協議会	地域内フィーダーシステム確保維持費国庫補助金

※総事業費及びその内訳については見込みであり、変更の可能性あり。

## 6 事業の効果

目標指標	事業の効果	関連する第2次飯能市地域公共交通計画の目標指標
・1便あたりの利用者数 3人以上	持続可能な運行につながり、地域住民の移動手段が確保される。	<b>指標 2-1</b> 将来（10年後）の外出に不安を感じる人の割合 <b>指標 2-2</b> 路線バスを年間1回以上利用した割合 <b>指標 3-2</b> 公共交通利便地域の人口割合

## 7 地域公共交通計画に継続事業に関連して実施される事業が定められている場合には、当該事業に関する事項

第2次飯能市地域公共交通計画（令和5年3月策定）

- ・基本目標1 施策3 市主体のモビリティ・マネジメント（56頁）
- ・基本目標2 施策1 利用しやすい待合環境の整備と情報発信（59頁）
- ・基本目標2 施策2 乗継環境と道路環境の整備（60頁）

## 8 その他継続事業の運営に重大な関係を有する事項がある場合には、その事項

- ・地域住民の需要、安全・安定運行の必要性等により、運行経路、時刻表、運賃等の運行内容について変更を検討する。
- ・本事業の対象外であるが、同地区において同車両により苅生便（東飯能駅西口～苅生自治会館）を運行する。

# 路線図



## 今後のスケジュール

## 令和 4 年度

時期	内容	備考
R5. 3. 29 (今回)	第 23 回飯能市地域公共交通対策協議会 以下について諮問し、承認を得る。 ・ 第 2 次飯能市地域公共交通計画 ・ 飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画	→承認後、速やかに決裁・策定 →国に認定申請提出 (認定まで 1~2 か月)

## 令和 5 年度

時期	内容	備考
R5. 6 上旬	国から計画認定を受ける。	
R5. 6	第 24 回飯能市地域公共交通対策協議会 以下について諮問し、承認を得る。 ・ R5. 9~の本格運行案 (4 条申請) ・ R5 フィーダー計画の変更 ・ R6 フィーダー計画の作成 ※6 月末〆切 ▶国に届出 (認定まで 1~2 か月)	※地域内フィーダー運送継続特例の適用にはサービス継続実施計画が認定済であることが要件  ※R5 計画の変更により運送継続特例 (運行費補助の新規性要件免除&車両一括補助) 適用
R5. 8	国から 4 条許可・計画認定を受ける。	
<b>R5. 9. 1~</b>	<b>本格運行開始</b>	
R5. 11~R6. 3	運行内容の見直し検討 ・ 利用データ分析、修正素案作成 ・ 各地区での検討 ・ サービス継続実施計画の変更準備	

## 令和 6 年度

時期	内容	備考
R6. 6	飯能市地域公共交通対策協議会 以下を諮問し、承認を得る。 ・ R6. 10~修正運行案 (4 条申請) ・ サービス継続実施計画の変更 ・ R7 フィーダー計画の作成 ▶国に認定申請提出 (認定まで 1~2 か月)	
R6. 8	国から 4 条許可・計画認定を受ける。	
<b>R6. 10. 1~</b>	<b>本格運行 (修正) 開始</b>	